

整理番号
13

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	除染対策事業				担当課	防災危機管理課		
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			担当係	放射能対策係		
施策項目	2	放射線対策			計画期間	令和5年度～令和7年度		
主な取組	1	情報提供・相談等の推進			事業区分	一部委託		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	11	2	2	除染対策事業費			

目的と方針【PLAN】	放射線への不安がない、安全に安心して暮らせるまちづくりに向け、情報提供や相談、農産物の風評払拭に向けた取組など、放射線対策を継続して実施します。							
-------------	--------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	仮置場を適正に管理し、原状回復工事を行い、市民の放射線に対する不安を解消します。							
------------	------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	市民			意図【PLAN】	仮置場の現状回復工事を行い地権者へ返地し、市民の放射線に対する不安を解消する。			
----------	----	--	--	----------	-----------------------------------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	伊達市放射能相談センターの運営。放射線の測定及び相談対応							
----------------------	------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	562,995	364,370	112,332			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	0			
事業費合計		千円	562,995	364,370	112,332			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
仮置場の維持管理、原状回復工事の件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	5	0	0	0	0
			実績値	4				
			達成率	80.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	令和6年度で仮置場原状回復工事及び返地は完了予定であるが、引き続き相談センター業務の継続には現状把握や業務内容等を踏まえ検討が必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	令和5年9月29日付けで放射能汚染状況重点調査地域の指定解除がされた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	放射能物質汚染対処特措法・国の除染関係ガイドラインに基づき事業を行った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	縮小	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	一部の市民の放射能に対する不安は根強く、放射線に対する不安は払拭されていないのが現状であり、事業の継続には現状を踏まえた検討が必要である。
--------	----	-------------------------	-----------------------------------------------------------------------

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	小中学校における放射線教育の実施			担当課	学校教育課
基本目標	1	安全・安心できれいなまち		担当係	指導係
施策項目	2	放射線対策		計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	1	情報提供・相談等の推進		事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業
					予算計上なし

目的と方針【PLAN】
放射線への不安がない、安全に安心して暮らせるまちづくりに向け、情報提供や相談、農産物の風評払拭に向けた取組など、放射線対策を継続して実施します。

事業概要【PLAN】
放射線について正しい知識を身に付け、伊達市の現状について、説明できる力を育みます。

対象【PLAN】	小学校1年生～中学校3年生	意図【PLAN】	発達段階に応じた放射線に関する正しい知識を身につけ、安心して生活できるようにする。また、風評払拭に向け、中学校3年生までに伊達市の現状を説明できるようにする。
-----------------	---------------	-----------------	---------------------------------------------------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
各学年とも「学級活動」の時間に、年間3単位時間の放射線教育の時間を設定し、指導する。あわせて、令和5年度は小学校5・6年生の「総合的な学習の時間」において10単位時間の放射線教育の時間を設定し、指導する。

事業費【D0】	年度	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	0			
	事業費合計	千円	0	0	0			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
小中学校において放射線教育に位置付ける授業時数	時間	実績値が目標値以上となること	目標値	各学年3時間加えて小学校高学年で10時間	各学年3時間加えて小学校高学年で5時間	各学年3時間	各学年3時間	各学年3時間
			実績値	各学年3時間加えて小学校高学年で10時間				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	放射線の影響について敏感に反応する保護者、児童生徒は減少している。しかし、安心して生活するためには放射線に関する正しい知識を身につけ、風評払拭に向けて説明できる力を身につけることが必要である。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	東日本大震災に伴う原子力発電所事故が発生するまでは、放射線について学習する機会は少なかった。小学校1年生～中学校3年生まで定期的に放射線について学習することで、自然な形で身につけることができる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	現在、事業費はついていない。 小学校高学年の年間10単位時間の実施は、他の学習との兼ね合いから縮小が妥当である。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	縮小	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	小学校1年生～中学校3年生まで定期的に放射線について学習することで、自然な形で身につけることができる。小学校高学年の年間10単位時間の実施は、他の学習との兼ね合いから縮小が妥当である。
--------	----	-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

整理番号
15

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	避難者帰還推進事業				担当課	防災危機管理課		
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			担当係	放射能対策係		
施策項目	2	放射線対策			計画期間	令和5年度～令和5年度		
主な取組	1	情報提供・相談等の推進			事業区分	直営		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	11	2	5	避難者帰還推進事業費			

目的と方針【PLAN】	放射線への不安がない、安全に安心して暮らせるまちづくりに向け、情報提供や相談、農産物の風評払拭に向けた取組など、放射線対策を継続して実施します。							
-------------	--------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	自主避難者を支援し、伊達市への帰還を促進するため、避難者への情報提供等を実施します。							
------------	--------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	市民			意図【PLAN】	自主避難者の帰還促進及び支援			
----------	----	--	--	----------	----------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	自主避難者の帰還促進及び支援							
----------------------	----------------	--	--	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	110			
	事業費合計	千円	0	0	110			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
-	-	実績値が目標値と なること	目標値	-	/	/	/	/
			実績値	-	/	/	/	/
			達成率	-	/	/	/	/

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	自主避難者は減少傾向にある。事務事業の優先度は低い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	県外避難者相談窓口業務や帰還者支援窓口業務は平成28年度で終了している。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	近年は、広報誌の発送のみの支援

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	縮小	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	事業終了については、避難者実数の把握は困難であるため、近隣市町村や国、県の動向を把握して総合的に判断する必要がある。
--------	----	-------------------------	------------------------------------------------------------

整理番号
16

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	自家用農産物等安全推進事業				担当課	農政課
基本目標	1	安全・安心してきれいなまち			担当係	農政企画係
施策項目	2	放射線対策			計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	2	検査・測定等の実施			事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	11	2	4	自家用農産物等安全推進事業	

目的と方針【PLAN】
放射線への不安がない、安全に安心して暮らせるまちづくりに向け、情報提供や相談、農産物の風評払拭に向けた取組など、放射線対策を継続して実施します。

事業概要【PLAN】
原発事故に伴う農産物の安全性の確認と不安解消のため、放射性物質分析器を活用した検査体制を維持します。

対象【PLAN】	市内の農作物を消費する市民および生産者	意図【PLAN】	市内の農作物を安心して食べてもらう
-----------------	---------------------	-----------------	-------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
身近に農産物等の放射性物質検査が受けられる環境を整備する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	10,879	12,540	5,863			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	0			
事業費合計		千円	10,879	12,540	5,863			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
検査件数	件	実績値が目標値以下となること	目標値	280	280	200	200	130
			実績値	290				
			達成率	96.6%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	年々検査件数が減少傾向にあり、住民ニーズ、社会的需要は少なくなりつつあり、ただ、いまだ出荷制限のかかっている農作物もあることから、事務事業の優先度に優越をつけることはできない。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	市民の農産物の安全・安心への不安を解消並びに風評被害払拭のためには、放射性物質検査を継続する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	費用を抑えるため、R6年度より検査会場を1か所に統合するよう調整し、コストの削減に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	放射性物質は、本市に限ったことではなく国としての方針が求められるものであり、市として判断できるものではない。
--------	----	-------------------------	--------------------------------------------------------

整理番号
17

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	環境放射線モニタリング事業			担当課	防災危機管理課
基本目標	1	安全・安心してきれいなまち		担当係	放射能対策係
施策項目	2	放射線対策		計画期間	令和5年度～令和5年度
主な取組	2	検査・測定等の実施		事業区分	全部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業
	1	11	2	3	環境放射線モニタリング事業費

目的と方針【PLAN】	放射線への不安がない、安全に安心して暮らせるまちづくりに向け、情報提供や相談、農産物の風評払拭に向けた取組など、放射線対策を継続して実施します。				
-------------	--------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	市民の放射線に対する不安を解消するため、環境モニタリングを実施し、ホームページ等で公表します。				
------------	-------------------------------------------------	--	--	--	--

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市民の放射線に対する不安を解消する。		
----------	----	----------	--------------------	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	国の総合モニタリング計画に基づき定期モニタリングの実施				
----------------------	-----------------------------	--	--	--	--

事業費【D0】	年度	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	12,516	13,902	411			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	0			
事業費合計	千円		12,516	13,902	411			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
集会所・学校等モニタリング箇所数	箇所	実績値が目標値以下となること	目標値	322				
			実績値	—				
			達成率	—				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	令和5年9月29日付けで放射能汚染状況重点調査地域の指定が解除され、定期モニタリングが不要になったため、事務事業の優先度については低いものである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	令和5年9月29日付けで放射能汚染状況重点調査地域の指定が解除された。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	国の総合モニタリング計画に基づき事業を行った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	縮小	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	放射能健康管理事業や食品等放射性物質検査等放射能関連事業を一体的に市としていつまで続けるか検討する必要がある。
--------	----	-------------------------	---------------------------------------------------------

整理番号
18

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	農産物魅力発信事業				担当課	商工観光課
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			担当係	物産振興係
施策項目	2	放射線対策			計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	2	検査・測定等の実施			事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	11	3	6	風評被害対策費	

目的と方針【PLAN】
放射線への不安がない、安全に安心して暮らせるまちづくりに向け、情報提供や相談、農産物の風評払拭に向けた取組など、放射線対策を継続して実施します。

事業概要【PLAN】
原発事故による風評被害を払拭し、市の基幹産業である農業の振興や発展のため、市農産物を広くPRします。

対象【PLAN】	首都圏など県外の消費者	意図【PLAN】	首都圏など県外の消費者が、伊達市産の農産物を好んで購入し、原発事故の風評被害を払しょくし、伊達市の農業が継続的に発展していく。また、伊達農産物のブランド力が向上する。
-----------------	-------------	-----------------	-------------------------------------------------------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
ターゲットを明確化し、そのターゲットに届くPR方法で伊達市産農産物のおいしさと安全性を届けていく。また、様々な媒体やPRできる販売店等の情報を集め、効果的なPRに努める。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	9,736	9,999	10,000			
	都道府県支出金	千円	5,000	6,833	8,333			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	1,981	1,200	0			
	一般財源	千円	121,250	13,000	12,817			
	事業費合計	千円	28,867	31,032	31,150			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
PR回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	18	18	19	19	20
			実績値	19				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	未だに原発事故の不評被害が残っている現状で、農産物の価格が他の産地より低い状況で、農業の生産基盤を守るための事業として優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	対面で話の出来るPR販売や、広く広報できるメディアを活用したPRなど、様々なPRが必要なことから有効だと考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・大型商業施設のPR販売では、職員による直営で行うことで経費を抑えてPRを行った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	・様々なPR活動を行うことで、ターゲット別にPRすることができた。 ・農産物の価格は、天候等により他産地の影響を受けることから、農産物の価格だけで比較できないところもある。また、実際の販売を担うのはJA等であることから市の役割などの明確化などに課題が残る。
--------	----	-------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------